

出島昇の『金のなる木』 2009年5月21日(木)  
資産形成レポート 『金のなる木』 kane 第10号

木は1年に1回果実をつけ、それを収穫したあとは、長い冬を越えて再び翌年実をつけます。その実を確実に収穫して、次の収穫に備える準備をし、翌年再び実を収穫するという意味で「金のなる木」と名づけました。  
【3~5年で資金3倍化を目指して】

(ご案内) レポートの名称が長期投資から資産形成に変わりました。内容の変更はございません

■■ 自分の投資スタンスを何度も確認しよう ■■

… 為替は円高トレンドへ転換(5/13に97.54円でドルの売転換)、  
日経平均の大幅下落の可能性高まる …

この「金のなる木」のレポートは、12/4号から3/19号までは大底圏の銘柄を合計32銘柄買推奨しました。推奨日の終値から下に買ポイントを①②③と3つ設定しました。③より下げたものもあれば①しか買えなかったものもありますが、低位の大底圏の株でするのでどこで買ってよかったといえます。儲けられた方は誰も買えない時の買いは非常に妙味があると思われるでしょう。株式投資の本当の儲け方は時間との戦いであり、それが理解できれば何をかうかの前にいつかうのかが重要であることも理解されると思います。

このレポートの使い方は2-3年という長期で割り切っている方は大底圏で買われているので保有し続けるという選択もあります。当面の天井圏のアドバイスがでた時に、大きく上昇してきたものだけいったん利益確定するという方法もあります。今回、4/16(木)のレポートでは持続でもいいし、利益確定でもいいということを個別銘柄ごとにコメントしましたが、その後の日経平均の高値圏でもみあいでも更に上値を迫る銘柄もでてきました。又、新型インフルエンザの拡大で繊維株が大きな上下動となり、ストップ高、ストップ安する銘柄もありました。利益確定した銘柄は次はどこで買えばいいのかという質問もありますが、それは、日経平均の次の大きな下げを待つのが基本となります。現在は高値圏でもみあっていますので、押し目買いで買って上昇したらすぐに売るといった投資法も可能ですが、それをやると過去の失敗を繰り返すこととなります。つまり上昇している時はいいですが最終的に高値掴みして次々と塩漬け株を作っていくというものです。

出島投資ワールド(ネット上の短期売買コース)では今週は8800円台では買いとし5/18(月)に5銘柄のパックで買推奨しましたが、5/19(火)に8997円までしか下げず、そのまま反発してしまいました。結果的には日経平均は9000円~9500円水準のボックス相場となっています。日経平均と同様、個別株も高寄りしての狭い範囲の動きですので、利益をとるのは難しい動きとなっています。今の形は7000円~9500円の大きなボックス相場の中で9000円~9500円の小さなボックスを形成しており、もし昨年10/15の9601円を終値の陽線でぬけると1万円接近の可能性もありますが、逆に9000円を切ると今度は8800円では止まらず8500円を目指す動きとなります。8500円を切るような動きになれば個別の低位株で再び大底圏に接近してくる銘柄がでますので、それをかうこととなります。利益確定をした人も新規の会員の方も、そのような局面を待つ必要が有ります。為替のドル/円、相場がすでにドルの戻りの三尊天井を形成して、ドル安トレンド(円高トレンド)へ転換しており、円高進行の程度によっては日経平均は大きな調整(1000円ぐらいの値幅も?)の可能性があり、じっくり再度の買いチャンスを待つところです。以下の今回の分析は現時点での一応の目安ですので現実に大きく下げた時は、あらためて買推奨を出しますので楽しみに待ってください。

[その場合の買い方のポイント]

- ・ 1つの銘柄に集中しないで分散投資する。
- ・ 1度にまとめて買わずに2回ぐらいに分けて買い下がる
- ・ 好材料がでて大商いで急騰した銘柄はいったん利益確定を行う (ストップ高は売り)

- ・大きな天井圏となるコメントがでたらいったんの利益確定をする（長期保有以外の人）
- ・利益確定後、自分で判断して買う場合は、安値から高値までの上昇幅の1/2押し、2/3押しを狙う以下、これまでの推奨銘柄の分析を記載しますので、4/16(木)の投資コメントと比較しながら売買を行ってください。

4/16以降の分析と投資コメント

4/16 号の売買アドバイスを参照しながらご検討ください

12/4号

業種	コード 銘柄	12/4以降 の安値	4/16の 終値	5/21の 終値	4/16(木)以降の動きと売買方針 新規買い方針
鉱業	1518 三井松島	出島投資ワールド会員に 10/28に110円で買いが成立。11/5 利食いアドバイス			4/13の121円を高値に4/28に105円まで押し目を入れ、5/13に135円と戻り高値更新。115円を切ると100円台まで下落する可能性あり。100円接近を待つ。
機械	6369 トヨタ	出島投資ワールド会員に 10/28に88円で買いが成立。			4/20に194円と昨年12/12の189円を更新し、4/28に162円まで下落して、再上昇し5/15に189円まで上昇、次は230円目標。 調整する場合は150円～160円での待ち伏せ買い。
建設	1816 安藤建設	3/4 116	125	142	4/23に120円をつけ、4/28に170円と2/2の164円を更新、押し目買いの形。130円を切ると120円水準での買い。公共投資関連銘柄なのでじっくり保有。
繊維	3103 ユニチカ	2/24 55	79	93	4/27より新型インフルエンザ関連で繊維株全面高、4/30に113円をつけて、その後急落し、5/14には87円まで下落。しかし、再び新型インフルエンザが国内で拡大したことで5/18に115円と高値更新。再び急落。4/30の113円と5/18の115円でダブル天井となる可能性もあり、じっくり待つ人以外は利益確定。
繊維	3106 クラブウ	12/5 126	137	160	4/27より新型インフルエンザ関連で急騰し、4/30に193円をつけ、その後急落し5/15には145円まで下落。新型インフルエンザが国内での拡大で5/18に189円の2番天井となって下落。長期保有の人以外は利益確定優先。
非鉄	5701 日本軽金属	3/16 60	89	90	90円台をはさんだもみあい継続中、100円をぬけると上放れへ。 新規の人は80円～90円で1回目の買いも。まだ大底圏でのもみあい中。
非鉄	5738 住友軽金属	2/24 76	92	95	5/11に101円の年初来高値更新、終値で100円をぬけると上放れへ 新規の人は80円～90円で1回目の買い。3/23に88円で買転換が出現中。
造船	7003 三井造船	12/5 116	202	222	4/28の187円を押し目に再上昇し、5/11には237円まで上昇し、ここを目先のピークに調整中。新規の買いは180円台あれば1回目の買い。
造船	7004 日立造船	3/3 72	98	104	4/24の98円を押し目に上昇し、5/14に117円と年初来高値更新し、調整中。90円台で1回目の買い。
銀行	8411 みずほFG	3/10 166	192	227	4/23の188円まで下げて、アメリカの金融株が買われたことで上昇し、5/11には263円まで買われる。目先調整となっているが200円台あれば1回目の買い。

## 12/18号

業種	コード 銘柄	12/18以降 の安値	4/16の 終値	5/21の 終値	4/16(木)以降の動きと売買方針
鉄鋼	5479 日本金属	2/24 102	166	187	4/20に184円まで上昇し、4/28に149円まで下落したあと再上昇となり、5/12に194円の年初来高値。まだ上値を目指している形。新規の買いは150円以下を待つ。

## 1/8号

業種	コード 銘柄	1/8以降 の安値	4/16の 終値	5/21の 終値	4/16(木)以降の動きと売買方針
非鉄 金属	5741 古河スカイ	3/12 110	177	169	急落後の大幅反発なので、いったん利益確定も可とする。4/23に195円の高値更新となるが、ここから現在調整中で、5/14には163円の安値をつける。4/28の安値161円を切ると3/10の110円に対する2番底をさぐる動きもでてくる。その場合130円台が買いポイント。
電気	6504 富士電機HD	3/11 77	138	160	4/14に150円の高値をつけたあと4/15に136円までの押し目を入れて上昇し、4/24に191円の戻り高値をつける。ここから調整に入って5/14に160円の安値をつける。小さな三角保ち合いとなっていて、191円を終値でぬけると240円が目標、158円を終値で切ると130円台へ。5/18に159円で売転換出現。為替も円高トレンドへ転換しているので、いったん利益確定も。太陽電池関連なので長期保有の可。
機械	6361 荏原	2/24 151	267	310	4/13に281円の高値をつけ、4/23に249円まで調整して再上昇し5/11に315円の年初来高値更新。300円接近は、いったんの利食いも可としていました。5/20は316円をつけて再び高値更新。上値のフシは330円水準。新規の買いは250円以下を待つ。

## 1/22号

業種	コード 銘柄	1/22以降 の安値	4/16の 終値	5/21の 終値	4/16(木)以降の動きと売買方針
非鉄 金属	5805 昭和電線HD	2/24 50	76	80	4/28に68円まで下げて5/15に81円まで上昇。出来高が増加してきているので電線株に期待。新エネルギー活用には電線は不可欠なので低位の電線株として物色される可能性あり。新規の買いは 80円前後 70円前後 60円前後
科学	4208 宇部興産	3/3 149	196	211	4/20に211円まで上昇して、4/4の212円をぬけずにいったん下落し、4/28に183円をつける。ここから反発し、5/11には大高値となって227円をつけ、翌日の228円を高値に、目先調整し5/14に205円をつける。200円を切ると4/28の安値183円が下値ポイント。この水準で1回目の買い。

業種	コード 銘柄	2/5以降 の安値	4/16の 終値	5/21の 終値	4/16(木)以降の動きと売買方針
繊維	3105 日清紡	2/18 610	938	973	利益確定もよいし、持続でもよいとしました。結果は豚インフルエンザ関連で繊維株が全面高となったことで4/27に1094円まで買われました。その後は1000円を下げれにもみあいが続いています。1094円をぬけると1200円、逆に1000円を切ると、900円ぐらいまでの下落となって調整が長引くこととなります。5/20(水)に1007円で売転換出現したことで調整入りの可能性。
電気	6502 東芝	2/23 204	318	342	4/23に371円までの上昇し、4/10の343円の戻り高値更新、4/28に323円まで下落したあと再上昇となって5/12に409円の高値更新となりました。400円前後はフシとなる場所ですので時間は少しかかりますが次は1/7の442円を目指し、ここをぬけると600円までは真空地帯となっています。原子力関連という息の長いテーマをもっています。チャートでは310円を切ると大きな調整となります。
機械	7011 三菱重工	3/4 267	315	330	4/16の312円を安値にギリ高となり、5/11には356円の高値をつけて4/10の353円をぬきましたが再び押し目をつけています。 新規の買いは300円台あれば1回目の買い。
卸売	8002 丸紅	3/12 265	395	415	4/20に417円をつけて下落となり4/28には347円の安値をつけました。ここから再反発となり5/11には429円をつけて高値更新となりました。5/20は428円をつけましたが、429円を終値でぬけなければ目先はいったん調整へ。その場合は350円水準で1回目の買い。
建設	1964 中外炉	2/24 210	251	256	4/20に270円の高値をつけたあと4/23の243円を安値に狭い範囲のもみあいとなっています。新エネルギー関連(太陽電池、バイオマス発電)で長期有望銘柄ですのでじっくり持続。230円水準では1回目の買い。
科学	4208 宇部興産	3/3 149	196	212	(1/22号の分析と同じ)
金属	5741 古河スカイ	3/12 110	177	169	(1/8号の分析と同じ)
金属	5981 東京製綱	2/17 166	237	244	4/21に232円をつけて反発し、4/23には4/9の255円をぬけて270円の年初来高値更新、その後高値圏でのみみあいが続いて5/13に280円と再び高値更新となり、5/15に260円で売転換出現、出来高も減少してきており調整長引く可能性高い。200円~225円が21回目の買いポイント。
電気	6508 明電舎	3/10 171	275	370	4/22の296円をつけて4/10の288円の戻り高値を更新し、4/28に254円まで押しを入れて再上昇し、5/15は大商いとなって350円をつけてきました。そして昨日は29円の376円となって200万株以上の大商いとなりました。目先は400円が大きなフシとなります。保有の方はいったん利益確定するところです。

業種	コード 銘柄	2/18以降 の安値	4/16の 終値	5/21の 終値	4/16(木)以降の動きと売買方針
卸売	8088 岩谷産業	3/12 195	219	261	4/21の217円を安値に4/24に239円をつけて3/25の238円を1円更新して反落となって4/28に221円まで下げてもみあいとなっていました。5/13に商いが急増して259円まであって、20円の250円となりました。260円はフシとなる場所ですので、目先一服ですが上放れの形ですので、5/20(水)は265円まで上昇してきました。280円～300円は上値抵抗ゾーンとなりますので、いったんの利益確定も。
機械	6364 北越工業	2/23 112	138	126	4/21に3/25の高値144円と同値の144円をつけて130円～144円のもみあいとなっています。128円を切ると2/23の112円に対する2番底をつけてからの本格反発となるか、それとも144円をぬけて上放れとなるのかという動きになっています。5/16も決算発表で今期4月減配と下方修正となりましたので、2/23の112円に対する2番底の動きとなりそうです。買値を少し上回ってしまっているので、いったん利益確定してから様子を見るか、他の銘柄に乗り換えてもよいかもしれません。

業種	コード 銘柄	3/5以降 の安値	4/16の 終値	5/21の 終値	4/16(木)以降の動きと売買方針
建設	1719 間組	3/9 78	94	105	4/26、4/30、5/1に86円の安値をつけてギリ高となっています。チャートの形としてはナベ底型となっており、4/8の102円という上ヒゲを埋めると上放れとなってきます。新規は80円台前半ぐらいで1回目の買い。
繊維	3104 富士紡HD	3/10 60	89	115	4/27から豚インフルエンザ関連銘柄として繊維株が全面高。富士紡も4/30には50円の170円とストップ高。その後急落し5/15には96円の安値をつけました。国内でインフルエンザが拡大したことで5/18にはストップ高の30円の129円と買われ、すぐに反落となっています。アメリカでは日本ほど新型インフルエンザに過剰反応してはおらず、日本も同じように落ち着いてくると売られることとなりますので、利益確定を優先させた方がよいでしょう。新規の買いは90円水準を待つ。
化学	4611 大日本塗料	3/12 77	96	97	4/24に101円をつけ、4/13の101円と目先ダブル天井となって4/28に92円まで下げて反発し、5/13には103円をつけて高値更新。98円台をぬけると103円をぬけて上値を目指し、90円を切ると80円接近へ。新規の買いは80円接近を待つ。

非鉄	5715 古河機械金属	3/6 70	100	97	4/16に4/13の104円をぬけて105円と高値更新し、4/28に90円の押し目をつくって再上昇し、5/11に104円をつけて反落。90円～105円のボックス相場。終値で105円をぬけると上放れへ。 新規の買いは 85円～90円 70円台
卸売	8074 ユアサ商事	3/10 89	105	100	4/16に112円の高値をつけ4/10の106円の戻り高値を更新。4/30に95円まで下げて反発し、5/11に106円まであって、もみあい継続中。昨年11/21の75円の最安値からはゆるやかな上昇トレンドを形成しています。新規の買いは 90円～95円 80円前後

3/19号

業種	コード 銘柄	3/19以降 の安値	4/16の 終値	5/21の 終値	4/16(木)以降の動きと売買方針
建設	1893 五洋建設	3/31 112	125	135	4/13の高値132円をつけて、日柄調整が続き、4/28に115円の押し目を入れて下値を切り上げる動きとなり、5/15には133円をつけて4/13の132円を上にもきました。出来高を増加中で上値を試す展開の可能性、公共投資関連。 新規の買いは 110円～115円前後 100円前後
機械	6440 JUKI	3/24 65	116	140	4/14の142円を高値に押し目を形成する形となって4/16に113円、4/28に115円の安値をつけて、反発となり、5/12には170円の年初来高値となりました。目先は170円台はフシとなりますので、当然一服するところですが、押し目を狙えます。(中国関連銘柄) 新規の買いは 110円台 100円前後
銀行	8411 みずほ	3/31 186	192	227	前述と同じ

## 柴田野線「諺」一〇八話集

野線継承者 柴田 豊秋(柴田秋豊氏の長男)

～ 柴田野線「諺」108 話集への思い ～

想い起こせば十九才より父に弟子入りし野線に携わってから私も七十七喜寿を迎える年齢となり人生も残り少なく頭の回転が衰えない記憶がある内にといい老骨に鞭打ち打ち最後のご奉公と筆を取りました。古来文人が掛軸にかかっている達筆でもなく誰でも読める自筆で執筆いたしました。

親子二代、八十数年を過ぎ父秋豊研究奥儀の数々を基礎に研究改良をし史料を発表しなければ親子二代後世に悔いを残す、あらゆる奥儀を発表する時期だと思いい立ち著述に至りました。

私達軍国主義時代に育った年齢は悲しいかな子供、孫達も簡単に打てるパソコン、英語が大の苦手、原稿も自筆で文章も次々と浮かぶ苦勞の連続であり今日迄書き留めた連載、父秋豊から教えを受けた事、私が長い相場界で気づき疑問に思った事を「諺」として著述にからめ今後野線投資に携わる人達の迷った時の一助になれば幸いと思っています。

古来の文人が掛軸にかかっているのは達筆で我々凡人には仲々読むことが出来ません、父からは文字は下手でも良い誰でも読める字を書く事と云われていたが、素人の事、文法上の誤り文面で重複することもありますが一話一話に意味が違いますので支障はありません。確かに父が研究し編み出した野線観測、棒足順張り、逆張り、鉤足を発表して北海道から日本橋に移り住み野線の復興に取り組んだが北海道の野線屋一と揶揄され軽視されました。今日では野線は「チャート」と呼ばれているが私は野線と云う単語に愛着があり今後も野線という文章一本で表現したいと思っております。

当時を振り返ると悔しく、辛い時期もあつたが父の供をして一世を風靡した「赤いダイヤ」のモデルといわれた佐藤和三郎氏、売の山種と語り草となった山崎種次郎氏、立花証券の創設者独眼流のペンネームで執筆石井久氏、数々の相場師に会いお話をさせて戴いた事は相場観測の違いこそあれ、当時若かった私の人生の宝と思っております。普通なら後身に譲り隠居する歳ですが、父を初め諸先輩に追い付き追い越せの気持ちで筆を持ち書きつづけ死が来る迄、研究、野線追及してゆきたい。

何如に奥儀を会得理解していても資金面様々の事情から大勢、中勢、目先、日計り売買に自ずと比の場面で果たして途転か利喰いか若しくは手仕舞いかの決断に迷いが生じたときの一助となればとの思いから野線観測から見た一〇八話を今日迄の成功、失敗から感じた体験を「諺」として纏め投資の一助となればとの思いです。古来「諺」は古典古人の先駆者、先祖、先人から言い伝えられた人類の智恵の結晶だと思っている。日常何気なく使われている諺は誠に意味深い。

あらゆる科学が発達した現在と違い、天候の雨、雪の量、寒さ暑さから作物の種蒔き収穫時、日常の生活に密着し、「諺」として残り実際に何気なく伝えられ使われている。

私も含め何如に奥儀を吸収、理解していても必ずや出勤に欲が付きまとい迷いが生じる事もある。比の「諺」は投資の心得として読んで戴きたい。柴田野線「諺」一〇八話集は相場投資、人生の奥儀とも思いい信じている。投機、投資家は元より、相場に関係ない経営者、個人の皆様にも一読して戴き、人生の一翼となれば幸と思っています。

豊秋

※このページは初めての方のために毎回記載します  
柴田秋豊氏に興味がある方は自伝を漫画化したものがあります。ズバ株 HP のトップページにございます  
<http://www.zubakabu80.com/>

### 第十三話 相場は魔物

相場の投機、投資は麻薬と同じである事を機会ある度に話し忠告してきた。一度手掛けると儲けても損しても止めることは至難の業であり危険があることを説いてきたが儲ければ投資金を増やし、損すれば借金してでも取り返そうと焦り深みに入り抜き差しなくなるのが通常である

### 第十四話 相場投資は観測眼であり「力」である

私は百人、千人の投資金を最終的に四～五人に集約されるのが相場であると説いてきた。投資金の額自体「力」であり、何百、何千億円を動かしている世界の投資顧問業者に吸い取られ、買収を餌に取り込まれるのが大半である。低迷を続けていた相場界も一般投資家も増え活気も盛り上がったが、投資する際、相場の敵、金欲と戦うための武器として自信の持つ頼れる「法則」が必要である。第二話「研究が先か張るのが先か」後で泣くのは自分だと言うことを肝に銘じて欲しい。

### 第十五話 相場の損得は売りと買いの違いだけ

相場は売と買の二通りで誠に簡単、素人、子供でも五割の確率だが実際は中々当らない、儲けられない。何故なのか、頭脳明晰であるが故に情報過多となり迷いが生じて決断が後手となる傾向がある。世界中で一番難しい職業は先行きを見通す相場観測であり投機、投資だと言われるゆえんで自分の投資法を確立することが先決。罫線観測は人の欲、迷い、心理の裏を看破するのが罫線の奥儀、法則である事を強調したい



ドル/円



ドル円の動きはアメリカ株式が上昇すれば逆にドル売り（下げれば当然ドル買い）という動きになっており、98円台を終値で切ると95円台を試すとしました。5/11（月）は、GMの破産法適用の可能性が高まっていることでリスク回避の円買いが97円台まで円が買われ、5/13（水）にはアメリカの「小売売上高」が予想を下回ってNYダウが急落し、円の買い戻しが入り95円台まで円が上昇しました。5/14（木）は96円台のドルの反発となりましたが、週末は94.712円までドルが売られる展開となりました。先週のドルの大幅下落（円高）は、三尊天井（3/5の99.662円、4/6の101.431円、5/7の99.764円）をつくったあとで直近の安値を切ってしまいましたので、週足で見ても円高トレンドへの転換を示すことになります。目先は3/19の安値93.516円が下値ポイントとなりますが、戻りを試しても次に下落する時は90円を目指す円高となる可能性が高いといえます。

[5/18(月)時点の出島投資ワールドの分析より]